

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年12月24日

計画の名称	水と緑のプロムナードを形成する安全・安心の公園づくり												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和04年度 (4年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	西宮市												
計画の目標	西宮市では、都市公園等の緑のネットワークにより、海・川・山を繋ぎ、文化・自然・防災の拠点を包括する、総延長約10kmの遊歩道「水と緑のプロムナード」の形成を計画している。 「水と緑のプロムナード」に含まれ、西宮市地域防災計画の広域避難地に指定されている西宮浜総合公園を整備することにより、都市環境と防災機能の向上を図る緑のネットワークを強化し、緑豊かな安全・安心の公園づくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	954	A	954	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	「水と緑のプロムナード」を構成する都市公園の目標供用面積の整備達成率を94%から100%に向上させる。 「水と緑のプロムナード」を構成する都市公園の目標供用面積の整備達成率を測定する。 【整備達成率】 = 【目標年次における整備済みの都市公園面積(m <sup>2</sup> )】 / 【整備を目標とする都市公園面積(m <sup>2</sup> )】 × 100(%)	94%	96%	100%
2	西宮浜総合公園における避難可能者数を25千人から46千人に増加させる。 西宮浜総合公園における避難可能者数を測定する。 【避難可能者数】 = 【目標年次における避難可能面積(m <sup>2</sup> )】 / 【1人当たりの必要避難面積(m <sup>2</sup> /人)】	25千人	33千人	46千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	西宮市	直接	西宮市	-	-	都市公園等事業(西宮浜総合公園)【1-A-1】	園路・広場等 A=7.0ha	西宮市						954	2.3	-	
												小計						954		
											合計						954			

(参考図面) 社会資本総合整備計画



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 水と緑のプロムナードを形成する安全・安心の公園づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 1) 目標が関係法令等の目的と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民・民間事業者等と連携して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H31(R01)	R02	R03
配分額 (a)	80.000	84.500	7.500
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	27.000	0.000
交付額 (c=a+b)	80.000	111.500	7.500
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	27.000
支払済額 (e)	80.000	84.500	34.500
翌年度繰越額 (f)	0.000	27.000	0.000
うち未契約繰越額 (g)	0.000	27.000	0.000
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0%	24%	0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	令和2年度計画別流用を含むため	-